



川のしくみ あなたのなぜに答えます

2004年6/19 (土) ~ 9/26 (日)

企画展「川のしくみ」では、7つのコーナーを設け、各コーナーごとに川に関する疑問 (Question) に対して、回答 (Answer) を用意する方式で展示します。この他にも、ひとく博士の川の研究室コーナーや兵庫県県土整備部河川計画課による環境調査の速報についても展示します。

コンクリート3面張りとはなぜ良くないの？



オオサンショウウオ

川底をコンクリートで固めると、川に住む水生生物たちにはどんな影響があるのでしょうか。自然豊かな川の断面をお見せいたします。

森がなくなると川の生態系はどうなるの？



コカクツツビケラ

森から供給される落葉や陸上昆虫は、水生昆虫や魚達にとって貴重な餌になります。実際にどれだけ川に供給されるのか、実際に体感して頂きたいと思えます。

ドジョウやメダカはどうして減ったの？



メダカの封入標本

昔はどこにでもいたメダカですが、どうして減ったのでしょうか。実は、洪水を防ぐための対策と深く関係しています。その様子を模型で確かめることができます。

河原の石の大きさはどのように決まるの？



説書川下流部の川原

川原の石ころの大きさは、場所ごとに異なります。その理由を、簡単な模型を使って実験することができます。

アユやサケはどうしたら戻ってくるの？



岸田川の堰堤

サケやアユのように海と川を往來する生物は、途中で障害物があると、移動出来なくなります。展示では、魚たちの視線で堰堤の高さを実感することができます。

川はどうして汚れるの？



うんちシール

人間はたくさん食べて、たくさんうんちします。さて、このうんち達はどこに行くのでしょうか？この展示を見ればその秘密が分かります。

干潟はどうして大切な？



干潟の底生生物の巣穴

新聞やニュースによく登場する干潟。なぜ多くの生物が生息し、どのように大切なのでしょうか？干潟と川の深い関係について、模型を使って解説します。

ひとく博士の川の研究室コーナー



研究室ってどんな感じ？
研究者って何をしてるの？
そんな疑問にお答えします。



ムートリア

みんなで作った巨大封入標本！

千種川にどんな水生生物がいるのか？一目でわかります。



兵庫県県土整備部河川課の自然環境調査の速報！

兵庫県の川の環境を地図を解説しています。



イベント情報

企画展シンポジウム 川の自然再生を考える 8/7 (土)、ホロンピアホールにて

共催：応用生態工学会

- 「自然をよみがえらせるとは」 岩槻邦男 (人と自然の博物館)
- 「北海道の川を蘇らせるためには、今何をすべきか」 中村太士 (北海道大学)
- 「佐賀県松浦川の自然再生」 尾澤卓思 (国土交通省武雄河川事務所)
- 「兵庫県における川の自然再生に向けた取り組み」 西川孝晴 (兵庫県県土整備部)
- 「自然再生と魚類群集」 田中哲夫 (人と自然の博物館)
- 「コウノトリの野生復帰に向けて」 池田 啓 (コウノトリの郷公園)

日時：2004年8月7日 10:30~16:00
参加費：1000円 (入館料を含む)

受講申し込み方法 (博物館へお申し込みください)
はがき、FAX、電話、ホームページにて、住所、氏名、年齢、電話・FAX、シンポジウム名をお知らせください (締切り7/30まで)。

ギャラリートーク (参加無料：申し込み不要)

場所：博物館企画展示室にて
時間：13時30分~14時30分

人と自然の博物館の研究員による展示ガイドです。
各分野の専門家がやさしく詳しく解説。
とっておきの話が聞けます。

- 6/20 (日) 「川原の石から何がわかるの？」 講師：加藤茂弘
- 7/18 (日) 「水辺の鳥と川の生態系」 講師：江崎保男
- 8/15 (日) 「川に棲む哺乳類」 講師：横山真弓
- 8/29 (日) 「川の汚れて何？」 講師：佐藤裕司
- 9/19 (日) 「川の仕組み」 講師：三橋弘宗